

雨の午後の降霊祭 (1964)

SEANCE ON A WET AFTERNOON

メディア 映画

ジャンル サスペンス ホラー

製作国 イギリス

色彩 B&W

時間 115分

初公開日 1979/06/23

公開情報 I P

【解説】

俳優出身で監督となってからも端役出演で演技を楽しむフォーブスは、映画作りのツボを心得たユニークな作品をコンスタントに繰り出してきたが、日本公開作は少なく、この自ら脚本も手がけた初期作品も製作後15年を経ての公開となった。狂気の淵にある霊媒師（K・スタンリー）は子供の誘拐事件を企て、気弱な夫（アッテンボロー）を巻き込んで彼に実行させる。この夫婦の演技が圧倒的で、特に妻の狂気と自らの起こす犯罪の恐怖ががんじがらめになっていくアッテンボローの脅えた表情は忘れられない。英国映画らしいプロットの妙を楽しめる作品で、陰翳に富んだモノクロ撮影も素晴らしい。後に黒沢清監督が「降霊 KOUREI」としてアレンジ・リメイクしている。

【クレジット】

監督	ブライアン・フォーブス	Bryan Forbes
共同製作	リチャード・アッテンボロー	Richard Attenborough
原作	マーク・マクシェーン	Mark McShane
脚本	ブライアン・フォーブス	Bryan Forbes
撮影	ジェリー・ターピン	Gerry Turpin
音楽	ジョン・バリー	John Barry
出演	キム・スタンレー	Kim Stanley
	リチャード・アッテンボロー	Richard Attenborough
	パトリック・マギー	Patrick Magee
	ナネット・ニューマン	Nanette Newman